

用水が活かされるまち：
イザベラ・バードも訪れた羽州街道のまちには今も水網水路が流れる



撮影：2012年8月（山形県・金山町大堰公園）

まちの中心部を流れる用水を活かした大堰公園は美しい町の象徴的存在ですが、この地を130年前に英国の女性旅行家イザベラ・バードが訪れ、ピラミッド型の丘陵に強い印象をもったようです。

町には多くの街並み案内人がボランティアガイドとして活躍しています。まちの中心を流れる用水は水網状に分かれ、融雪溝として今でも活用され、流れは家々の庭まで引き込まれています。

国土文化研究所 特任研究員 岡村幸二（JRRN会員）